

# シリーズ企画

## オリンピックと屋内全面禁煙法・条例(その19)

### ①松沢氏(参議院議員)、尾崎先生(東京都)の講演

### ②WHO高官、ベッチャー氏来日

北九州市医師会広報委員会委員  
産業医科大学産業生態科学研究所  
健康開発科学研究室 教授

大和 浩

#### ①松沢成文氏(参議院議員)、尾崎治夫先生(東京都医師会会長)の講演

2016年3月5日、「たばこ規制に取り組む松沢しげふみを応援する医師・有志の会」第5回総会が東京で開催されました。まず、松沢氏が事務局長を務める議員連盟が提案する「受動喫煙の防止に関する施策の推進に関する法律案」に対抗するように、タバコ産業から献金を受けている自民党の議員達から「受動喫煙の防止のための分煙対策の推進に関する法律案」が提出され、苦戦していることが説明されました。後者の法律案は「喫煙しない者及び喫煙する者の双方の立場に配慮しつつ、分煙による受動喫煙の防止を行わなければならない」とタバコ産業の主張を代弁している内容です。もし、こんな法律が成立したら世界中の物笑いの種になってしまうでしょう。

続いて、尾崎先生から2020年の東京オリンピック・パラリンピック大会にむけて、東京都医師会として活動してきた内容について講演がありました。

- 都医師会は、東京五輪大会までに屋内を全面禁煙とする規制が必要であることを東京都に対して提言し続けていること
- 飲食店等のサービス産業の従業員の健康を守るためにも全面禁煙化が必要であること
- 公明党、民主党には全面禁煙化に反対する議員は皆無に近いこと
- 自民党であっても、若手議員は賛成者が多いこと



図1. 日本禁煙学会学術総会(東京)のお知らせ



図2. 尾崎会長と熱く・固い握手を交わす筆者

• 自民党を含め、23区の「長老」と呼ばれる区議会議員たちには丁寧な説明が必要であること  
について熱弁を振るわれました。尾崎先生の発表

は3回目だったのですが、こんなに熱い先生だったとは知りませんでした。東京都受動喫煙防止対策検討会の委員に選ばれなかった理由がよく分かりました。尾崎先生は今年10月29、30日に開催される日本禁煙学会学術総会を会長として主催されます(図1)。メインテーマは「受動喫煙のない東京オリンピックを！」です。もちろん、私も固い握手で参加を約束しました(図2)。

## ②WHO 高官、ベッチャー氏来日

昨年3月に続き、WHO生活習慣病予防部のベッチャー部長が再び来日されました。今回、参議院議員会館の松沢氏、日本歯科医師会、厚生労働省、JICA、国立がん研究センターを2日間で訪問されることを聞きつけ、道案内役を買って出ました。スケジュールの合間に、なぜ日本のタバコ対策が進まないのか、を見て貰おうと思ったのです(図3)。

まず、前号でも紹介した議員会館の各フロアにある喫煙室にご案内しました。道路を隔てた国会議事堂に移動。自民党は控室等で普通に喫煙していること、来訪者用にロビーに喫煙室が設置されていること、そして食堂の喫煙席と禁煙席の間には透明な衝立があるだけで禁煙タイムさえないことに驚かされていました(図4)。移動するタクシーの中で「まず国会の禁煙化が必要であることをWHOから要請して欲しい」とお願いしました。

ベッチャー氏はお連れできませんでしたが、WHO西太平洋地区のタバコ対策を担当しているコー氏を都庁にお連れした。一般庁舎、議会棟、都民ホール、展望フロアに喫煙室があり、32階の来庁者用喫茶店は昼食時間帯のみ禁煙で、それ以外の時間帯は喫煙可能であることを見て貰いました(図5)。東京都の対策が進まない理由は都庁が禁煙ではないから、ということをおベッチャー氏に伝えていただけるようお願いしました。

17時、国立がん研究センター総長を表敬訪問後、タバコ対策に長年取り組んで来られた望月友美子先生の主催で、有志を集めた勉強会がありました。テーマは「タバコパッケージの画像による警



図3. 松沢議員の事務室で意見交換(左からコー氏、ベッチャー氏、筆者、通訳、齋藤麗子・日本禁煙推進医師歯科医師連盟会長、松沢氏)



図4. 国会の食堂に喫煙席があることに驚いているベッチャー氏



図5. 東京都庁、32階の喫茶店は禁煙タイム以外は受動喫煙あり

告」として、2012年にオーストラリアで始まったプレーンパッケージに関する講義をしていただきました(図6)。プレーンパッケージとは、望月先生が右手で示しているように、ブランドのロゴ、ブランド・カラーを一切排除して警告のみを印刷したパッケージのことで、ブランド名は箱の一番下の「Brand」の部分に政府が決めたフォント・大きさに小さく記載されます。パッケージの背景が茶色なのは、喫煙者が最も不愉快に感じる色として決められました。ですから、メンソールの入った「\*\*・Blue」などの銘柄も全部茶色になり、ある意味、滑稽なパッケージになります。2016年中にイギリスやフランスでも実施されるとのことでした。

今回の来日中、ベッチャー氏の講義を5回聴講しましたが、「日本のインフラは22世紀のレベル。しかし、タバコ対策だけは20世紀のレベルに留



図6.「画像による警告」について講義するベッチャー氏(右)。中央はプレーンパッケージの拡大模型に手を添える望月氏、左はWHOのコー氏

まっている。日本だけが20年前の議論から一步も進んでいない」と繰り返し説明されていました。なんとか、東京五輪大会をきっかけに、世界水準のタバコ対策に追いつきたい、と強く思いました。

#### 〈広報委員会のおまけ情報(その4)〉

いつも利用するタクシーの運転手さんが「先生、資さんうどんが3月から全面禁煙になっていましたよ」と教えてくれました。

ホームページで調べてみると3月1日から全店舗で「全席終日全面禁煙」とのこと。広報委員の権頭先生が2015年6月号の編集後記に推奨されていた「うどん屋の朝食」ですが、これからは、いつ食べに行っても受動喫煙なし、です。早速、部活の学生4人をつれてゴボ天うどんを食べに行きました。



ところで、皆さんは、ゴボ天うどんはこの辺りにしかないメニューというのはご存じでしたか？

(担当:大和)

